大野瑞季、第17回オルレアン国際ピアノコンクールにて優勝

日本人としては10年ぶり3人目の優勝

作曲家・ピアニストの大野瑞季は、2026年10月31日（土）にフランスで開催された「第17回オルレアン国際ピアノコンクール」決勝において、優勝いたしました。これまで日本人としては1994年の浦壁信二さん、2016年の大瀧拓哉さんが優勝しており、10年ぶり3人目となります。
優勝者に贈られるORCOM財団提供による「ブランシュ・セルヴァ」賞。「エリオット・カーター」賞及び「アンリ・デュティユー レジデンス-ジュヌヴィエーヴ・ジョワ」賞の3つを受賞いたしました。
また、フランス時間の11月2日（月）午後8時（日本時間の11月3日（火）午前4時）より、ブッフ・デュ・ノール劇場（フランス・パリ）にて、大野瑞季を含むファイナリスト3名のコンサートが開催されます。

▼大野瑞季



大野瑞季　おおのみずき

作曲家・ピアニスト。愛知県瀬戸市出身。東京藝術大学作曲科卒業後、JML音楽研究所にて研鑽を積む。現代音楽を専門として、国内において作曲・ピアノ双方のコンクールで複数入賞。
2026年、第17回オルレアン国際ピアノコンクール優勝、「エリオット・カーター」賞、及び「アンリ・デュティユー レジデンス-ジュヌヴィエーヴ・ジョワ」賞を受賞。
同年、ピティナ・ピアノコンペティションF級課題曲に「スプリング・エフェメラル」が採用され、カワイ出版より楽譜が刊行。
現在は東京を拠点に、20世紀後半以降の作品を中心とした演奏活動・企画を行なっている。

公式サイト：https://onomizuki.com/

▼オルレアン国際ピアノコンクール（Orléans Concours International）

1994年にフランスで第1回コンクールが開催され、以降2年毎に開催、今回で17回目を迎えます。国際音楽コンクール連盟及びアーリンク・アルゲリッチ財団の両方に加盟しており、現代音楽のレパートリーのみに焦点を当てた世界で唯一のコンクールとして、高く評価されています。本コンクールとその芸術活動を推進する中核的な価値観は「卓越性」と「革新性」です。
また、受賞者に対する専門的なサポートとして、コンサート・講演会・ワークショップなどの企画・運営が行われています。

公式サイト ：https://oci-piano.com/

▼大野瑞季コメント

この度、大変光栄なことに、第17回オルレアン国際ピアノコンクールにて優勝することができました。
本コンクールに向けて約1年をかけて準備をしてまいりました。結果を残すことができ、何より大変嬉しく思っております。
10月31日（土）の決勝においては、 トマス・アデスの作品をアンサンブル・アンテルコンタンポランと共に作曲家ご自身の指揮にて演奏いたしました。
名誉な機会をいただくことになった本作品がコンクールを通してもっとも印象深く、決勝においても良い演奏をすることができたと思っております。
JML音楽研究所のご支援、そして本コンクールに向けてご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。
また、新たな挑戦に結び付くコンクールを主催してくださった関係各位に深く御礼申し上げます。
開催国であるフランスでのコンサートツアーはもちろん、日本にて皆様の期待に応えられるよう、これからも努力を続けてまいります。

▼第17回オルレアン国際ピアノコンクール受賞者コンサート

日程：2026年11月2日（月）　※現地時間

時間：20:00　　※同上

エリア：Paris, France

会場：Théâtre des Bouffes du Nord

内容：大野瑞季を含むファイナリスト3名による1900年から現代までのピアノ作品の演奏。

サイト：https://oci-piano.com/en/evenement/17th-competition-winners-concert-in-paris/

※本コンサート自体に対する取材のご依頼はコンクール事務局までご連絡をお願いいたします。

大野瑞季事務所

大野瑞季公式サイト：https://onomizuki.com

大野瑞季事務所のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/193956

詳細に関するお問い合わせ・取材に関しては以下までご連絡くださいませ。

担当（久保）直通：ajita.kesakambalin@gmail.com